

平成 23 年 5 月 27 日
青森労災病院 臨床心理士 加川真弓

東日本大震災関連の活動報告

派遣地区 岩手県下閉伊郡田野畑村

派遣期間 平成 23 年 5 月 16 日～5 月 20 日

活動内容 東日本大震災津波によって心にダメージを受けた子どもへの心のサポート

- ・ 心理教育
- ・ コンサルテーション
- ・ カウンセリング
- ・ その他

派遣チーム 青森県臨床心理士会所属 臨床心理士 5 名

岩手県教育委員会は東日本大震災津波によって心のダメージを受けた子どもへの心のサポートプログラムの一貫として、県外臨床心理士を被災地区学校へ派遣し上記のような支援活動等を行っています。青森県臨床心理士会からは 5 名が計 6 週間にわたり上記地区に入りました（全県から 300 名を超える臨床心理士が派遣され活動を行っています）。大災害による子どもたちの心への影響は大きく、心と身体の不調を訴える子が多く見受けられました。心のケアは単発ではなく中・長期に渡って行われる必要があります。そのため、本人へのサポートもさながら周囲の身近な大人が子どもの状態を理解し適切な対応をもって接することができることが肝要となります。我々は教員を含め身近な大人の後方支援となるよう活動を微力ながら行ってきました。また、自分なりのストレス反応への対処方法を持つこと、周囲との絆を深めエネルギーとすることで心の健康を図るようになることを目的とし活動しました。

子どもたちが小さい心で懸命に前に進もうとしている姿に胸を打たれました。我々の活動が被災された方々の心のエネルギーの回復の足がかりとなればと思います。今回の業務について院長先生他、当院スタッフの方々にはご配慮いただき感謝いたします。